

イラン攻撃による影響を受ける中小業者への支援を

米国・イスラエルによるイラン攻撃が行われ、ホルムズ海峡が事実上封鎖。その影響は多方面に広がっています。燃油高騰、資材不足・高騰で医療現場や中小業者は事業継続が



困難な状況に置かれています。大かわら議員は、影響調査を行い対策を国や県に求めるとともに、神戸市としても臨時議会を招集し、支援策を早急に実施することを申し入れました。

◀支援を求める大かわら議員(左側)

健康ライフプラザスポーツジムの存続を

兵庫駅南側にある健康ライフプラザ内のスポーツジムは、若い方から高齢者まで幅広い年齢層の市民が利用されています。フレイル予防とともに心疾患等の運動療法でも利用されており、大切な役割を果たしてきました。ところが突然3月末での閉鎖が発表されました。大かわら議員は、事業継続を求める市民の要望に応え、神戸市が存続のための対策をとることを求めました。



ついに実現! 小学校給食無償化 あたたかい中学校給食

1月からみんなで食べるあたたかい中学校給食が実現しました。これまで神戸市や議会与党は、「愛情弁当」にこだわり中学校給食を拒んできました。保護者や市民との共同で9万筆をこえる署名を集め、議会でも繰り返し取り上げ実現することができました。

また4月から、小学校給食の無償化が実現しました。国会では、自民、維新、公明が当初の無償化を撤回したことで、国からの補助が5200

円しか出ず、1000円分が不足する事態となりました。しかし議会で、神戸市が不足する分を公費負担する旨の答弁を引き出し、給食の質を落とさず、保護者負担もゼロで無償化が実現しました。引き続き、中学校給食無償化、修学旅行費や制服代など教育費ゼロの神戸へ頑張ります。



神戸市議団

322-5847

日本共産党兵庫区事務所

577-7987

市バス減便・路線廃止計画の撤回を

大かわら議員が代表質疑

神戸市は、市バスについて、市内全域で過去最大の減便を計画しています。

黒字路線でもその対象です。便数を減らすことで「すし詰め」状況をつくり、効率化をはかるということです。1月と5月には、混雑した車内で転倒事故が発生し、救急搬送されるという事態も起こっています。

神戸市は、「赤字」を理由にしていますが、今年、2億4200万円の黒字予定。今年から毎年黒字が続き、2034年には6億4000万円の黒字の見通しです。決して減便、路線廃止を強行しなければならない状況ではありません。

市民からは、「バスが減って病院へ行けない」「買い物の荷物をもって混んだバスに乗るのは転びそうで怖い」などの不安の声が上がっています。しかし市長は、交通局への補

助金を削減しています。都心・三宮などへ湯水のように予算を使う姿勢とはあまりにも対照的です。市民の切実な声に耳を傾けるべきです。

大かわら議員は「更なるバス路線の廃止・減便・民間委託では公営交通の責任は果たせない」と減便計画の中止を求めました。



代表質疑での大かわら議員

兵庫区エリア減便計画

●2026年4月実施

系統	運行区間	(平日)			(土曜)			(日祝)		
		変更前	変更後	増減	変更前	変更後	増減	変更前	変更後	増減
3	吉田町1～名倉町～吉田町1	70	68	▲2	46	43	▲3	46	43	▲3
4	神戸駅前～丸山～神戸駅前	64	61	▲3	61	53	▲8	61	53	▲8
7	市民福祉交流センター前～平野～神戸駅前	187	173	▲14	167	163	▲4	167	163	▲4
96	神戸駅前～中央市場前～松原通5丁目	33	29	▲4	33	26	▲7	33	26	▲7

●2027年4月実施予定：65系統廃止(廃止以外に減便計画もあり)

神戸市会議員

大かわら鈴子

日本共産党
神戸市会報告
兵庫区版 2026年 予算議会号



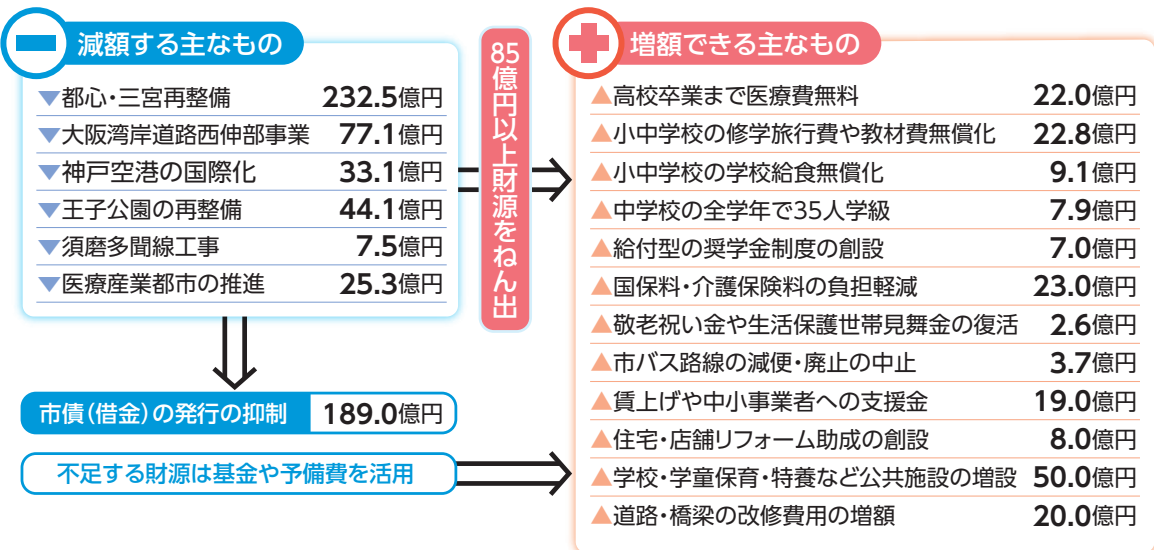
予算組み替えを提案

市民の暮らし応援の予算へ転換を

市長が提案した新年度予算は、1兆円近い大型予算。しかしその中身は、大型開発に偏重したもので、物価高騰に苦しむ市民や中小業者への直接支援は全くありません。さらに公共料金の値上げや国保の独自控除の縮小など市民負担を増やしています。また市民の命と安全にかかわる橋梁や老朽汚水管渠の更新等も財源難を理由に計画通り進んでいません。

日本共産党市議団が提案した組み換え案では、市民の暮らし応援、要望実現の施策のための財源を示し、市長に実施を迫りました。

2026年度神戸市予算組み替え提案



「戦争国家づくり」のための 神戸空港の「特定利用空港」指定許すな！

「特定利用空港」は、有事に備えて自衛隊などが空港を円滑に利用できる条件整備を推進するもので、神戸空港の軍事利用が懸念されます。国は、年内に神戸市に同意することを求めています。日本共産党市議団は、高市政権の「戦争国家づくり」に加担すべきではないと緊急申し入れを行いました。



緊急申し入れする大かわら議員(左から3人目)

市民の声を議会に届け、がんばっています

今議会でも市民からの切実な請願・陳情が寄せられました。皆さんの願い実現へ、その思いを代弁する唯一の会派として頑張っています。

2026年2月議会での主な議案などへの主な各会派の態度	共産党	自民党	維新の会	公明党	立憲・国民
久元市長の提案する一般会計予算案	反対	賛成	賛成	賛成	賛成
市バス減便計画をすすめる自動車事業会計予算案	反対	賛成	賛成	賛成	賛成
18歳まで医療費無料にする条例修正案	賛成	反対	反対	反対	反対
賃上げや中小事業者への直接支援を求める請願	採択	不採択	不採択	不採択	不採択
核兵器禁止条約の批准を求める意見書	賛成	反対	反対	反対	反対

※立憲・国民は会派「こうべ未来」

健康局審査 地域医療支援で看護師不足解消を

低い診療報酬が原因で、全国の7割の病院が赤字となっていますが、中でも負担が大きいのが人件費。看護師不足が深刻であり、人材紹介業者を頼らざるをえず、その費用が高額で経営を圧迫しています。

大かわら議員は、地域の医療機関から寄せられた実態を示し、神戸市として看護師の確保・定着のための支援を行うことを求めました。



健康局で質問する大かわら議員

石井川水管橋の整備を

烏原導水路の石井川水管橋は、大正初期に建設され、平成20年には、近代化産業遺産に認定されています。全国ロケーションデータベースにも登録されている重要な資産です。

しかし草木に埋もれほとんど見えなくなっています。地域からは整備を求める声が上がっており、大かわら議員は、付近の住環境整備と併せて行うことを求めました。



建設当時の水管橋



草木に埋もれた現状